

グローバル時代の企業活動で直面する課題への対処

人口減少が進む国内情勢や激動する国際情勢、あるいは自然災害や地域交通の変化のなかで、企業活動を取り巻く環境は変化して新たな課題が現れています。そのような中でも、優れた人材を獲得・開発し、新事業を創出して持続的な経営を実現する努力が求められています。

本講座では、実務経験の豊富な福井大学国際地域マネジメント研究科（社会人向け大学院）の教授陣らが、大きく2つのテーマを立てて実践的な学びの機会をご提供させていただきます。



受講期間

令和6年7月12日～8月2日（金曜日13:30～16:45に開催）

受講方法

対面、もしくは対面とオンラインのハイブリッドで実施します。（詳細は裏面ご参照）
講座は全7回、全ての回を受講していただくことが基本です。
（企業におかれては、講義内容に応じ、交代で別の方が受講されても結構です。）

受講場所

福井大学 文京キャンパス 総合研究棟V（教育系1号館）12講（1階）

今回特徴

今回は、初めての試みとしてセミオーダーメイドな講座として実施します。
具体には、各回の講義内容に関して、事前に「こういうことにも言及してほしい」というご要望をいただければ、それを内容に盛り込ませていただきます。

講師陣

国際地域マネジメント研究科教授 大橋 祐之 氏

福井大学研究推進課長、就職支援室長、キャリア支援課長を歴任。2020年放送NHKドラマ「シューカツ屋」の橋本じゅん氏演ずる叶野就活支援室長のモデル



連合教職開発研究科教授・研究科長 木村 優 氏

専門職の職能成長と学習する組織文化の構築・成熟を研究領域とし、日本全国の学校・教師との共同研究に従事している。博士（教育学）（東京大学）



国際地域マネジメント研究科教授 井上 博行 氏

福井大学総合情報基盤センター、データ科学・AI教育研究センター各兼任教員。情報科学、データサイエンスに関する授業科目を担当。「ふくい型アプレンティス」プログラム講師。日本知能情報ファジィ学会の理事などを歴任。博士（工学）



国際地域マネジメント研究科准教授 高井 愛子 氏

外資系医療機器会社ヒルロムジャパン株式会社にてマーケティングマネージャーとして従事、経営学修士（専門職）（神戸大学）



国際地域マネジメント研究科講師 江川 誠一 氏

シンクタンカー、コンサルタントとして地域振興や企業経営に携わる。
専門は観光学と地域経済論。（一社）DMOさかい観光局専務理事を兼務



国際地域マネジメント研究科教授 高桑 義明 氏

総合商社にて、トレーディング、事業投資、経営企画、秘書、内部統制などの業務に従事
国立研究開発法人にて、国際実証事業のプロジェクトマネジメントを実施。博士（経営学）（神戸大学）



日本貿易振興機構（ジェトロ）福井貿易情報センター 所長 齋藤 寛 氏

2007年、ジェトロ入構。海外調査部ロシアNIS課配属。以後、神戸貿易情報センター、モスクワ事務所、本部海外調査部欧州ロシアCIS課、本部総務部秘書室を経て、2022年10月より現職。編著に『ロシア経済の基礎知識』（ジェトロ、2012年7月発行）



国際地域マネジメント研究科准教授 竹川 充 氏

経営コンサルタントとして多数の中小企業の支援実績を持つ。公的支援機関の登録専門家等を歴任し大学教員へと転身。修士（経営学）、中小企業診断士



各テーマの目的

テーマA <新規ビジネスを支える人材育成策>

インターンシップをどのように工夫して新卒採用へと繋げるか、長年働いている社員の能力やスキルを高めるにはどのような有効な方法があるのか、新卒採用や社員の人材開発に役立つノウハウが得られます。また、企業のDX推進による生産性向上に向けて、各種AIツールを活用してデータ分析を行う方法や、その際の注意点についても学べます。

テーマB <円安環境で生まれるビジネスチャンスの活用策>

現在の世界情勢や円安環境、地域交通の変化などを、どのように捉えて自社のビジネスチャンスに変えることができるか。市場価格の変動への対応や、中小企業の輸出への挑戦、マーケティングにおける新しい考え方と取り組み、インバウンドの人流の増加への対応など、具体的な事例に基づく解説を聞くことで、事業展開のヒントが得られます。

開講スケジュール

開講時間：13:30～15:00、15:15～16:45

会場：総合研究棟V（教育系1号館）12講義室（一部オンライン受講可）

テーマ	日程	講義内容（担当講師）
テーマA	7月12日（金） 13:30～15:00 ※オンライン受講可	インターンシップを活用した社内若手人材の育成と採用力アップデート（大橋 祐之） 現在の採用現場では、インターンシップのプログラム内容が年々重要となっています。企業にとって、学生にとって、そして地域社会にとって魅力ある“三方よし”のインターンシップとはいかなるものか、を採用対策の視点から考察します。
	7月12日（金） 15:15～16:45	教職大学院が取り組む教員スキル向上と企業での応用策（木村 優、ほか） 福井大学教職大学院では、これまで主に学校教員向けに、仕事のパフォーマンスを高めるための効果的な学習方法と組織開発の手法を培ってきました。そこで、企業で働く社員の方々向けにも応用可能な専門職の職能開発サイクルとそれを推進する具体的な方法を、体験的に学びます。
	7月26日（金） 13:30～16:45	企業のDX推進に向けたデータ分析ツールの活用法（1）（2）（井上 博行） フリーで入手できるAIツールには使い次第で非常に役立つものがあります。（1）ではChatGPTなど急発達している生成AIの有効な活用法と、その注意点や課題について解説します。（2）では実際にツールを用いて大量のデータを分析する分析手法を紹介します。
テーマB	7月19日（金） 13:30～15:00 ※オンライン受講可	グローバル市場への挑戦に向けたマーケティングの視点（高井 愛子） グローバル市場への参入には様々な形態があります。異文化への適応のための事前市場調査の重要性やその実施にあたって、文化の違いや商習慣、消費者特性の理解などのポイントについて理解を深めます。国際展開の戦略を立てる手助けとなります。
	7月19日（金） 15:15～16:45 ※オンライン受講可	福井のインバウンドビジネスに関するチャンスと具体的提案（江川 誠一） 北陸新幹線の延伸による福井県内へのインバウンドの人流の増加が期待されています。それに伴って、観光業ほか様々な業種において新しい事業展開が求められており、今後の企業活動でどのような工夫を凝らすとよいかを解説します。
	8月2日（金） 13:30～15:00	世界の経済環境の見方と円安への向き合い方（高桑 義明） 世界の経済環境・社会情勢の見方について国際経営の視点から考え、企業として進行する円安にどう向き合えばいいかについて考察します。
	8月2日（金） 15:15～16:45 ※オンライン受講可	中小企業の海外ビジネスへの挑戦と県内企業の事例（齋藤 寛、竹川 充） 国内マーケットが縮小する一方、海外市場では成長が続いています。こうした成長する海外市場へのチャレンジを支援しているジェトロ（日本貿易振興機構）の事業及び支援事例を紹介するとともに、県内企業の取り組みについて経営学の観点から解説します。

受講料

1社 2万円

定員

20名（先着順）

【お申し込み方法】

- ・ 受講申込みは、企業ごとにとりまとめた上、下記URLまたはQRコードからアクセスし、**令和6年6月17日（月）**までに、お申込みフォームに必要事項を入力してください。
- ・ お申し込み受付後、**受講決定通知書**をメールにてお送りします。
- 併せて、受講料の振込先もお知らせしますので、**受講日**までにお支払いください。
- ・ ハイブリッド開催講義について、オンライン受講を希望される場合は、開催日までにご連絡ください。



お申込みフォーム



福井大学
同窓経営者の会

国立大学法人
福井大学
UNIVERSITY OF FUKUI

福井大学同窓経営者の会事務局
TEL：0776-27-8676
FAX：0776-27-8518
E-mail：dkeiei@ad.u-fukui.ac.jp